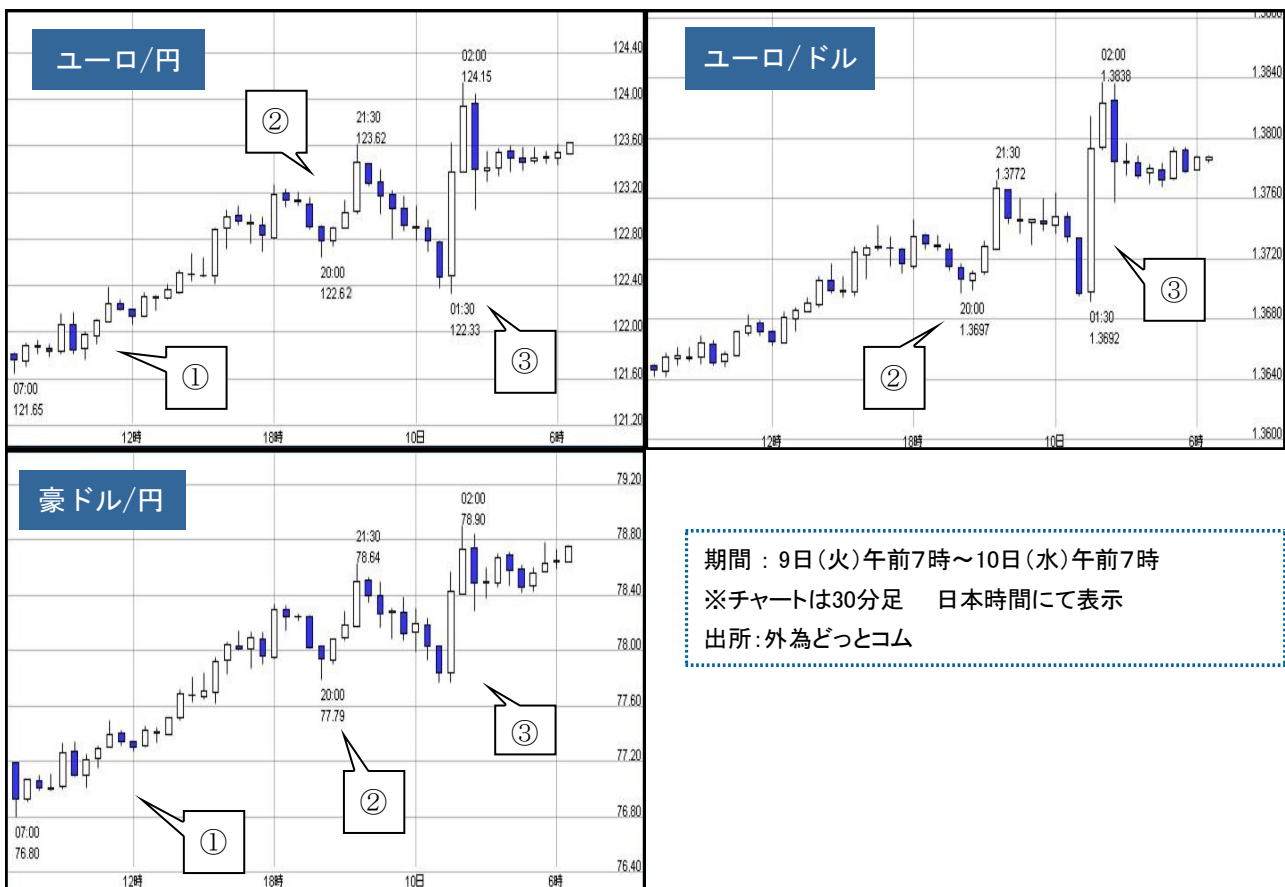


2月10日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

ギリシャ問題に一喜一憂

9日(火)の主な推移



期間：9日(火)午前7時～10日(水)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① オーストラリアを訪れていたトリシェECB総裁が予定より一日早く帰国することが伝わると、市場ではECBの緊急会合でギリシャ問題が進展するとの期待から、ここ数日下落基調をたどっていたクロス円は買いが先行した。そのほかにも日経平均株価が底堅く推移したことや、アジア株式市場やダウ平均先物も概ね上昇していたこともクロス円上昇のサポート材料となった模様。
- ② トリシェECB総裁の帰国理由がギリシャ問題ではないことがECB高官によって伝えられると、ユーロを中心にやや下落する場面が見られた。しかしダウ平均先物や時間外の原油先物取引の上げ幅拡大を背景にしたクロス円を中心に買いが先行、間もなく反発した。
- ③ NYダウ平均株価が100ドルを超えて上昇リスクを取りやすい地合いの中、独政府高官からユーロ圏政府によるギリシャ救済の可能性が伝えられると、ユーロ買いに安心感が出たことでユーロ/円やユーロ/ドルが急反発、リスク許容度の高まりを受けて豪ドル/円も9日の高値を更新した。しかしその後独報道官がギリシャ救済を否定する発言を出し相場は急反落するなど、値動きの荒い展開となった。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3680-1.3870ドル
ユーロ/円 : 122.70-124.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.80-79.20円

昨日はユーロ圏諸国によるギリシャ救済の可能性からユーロが大きく買われた。しかし EU 諸国の中で財務問題に苦しむ国は他にも存在するため、仮に市場がギリシャの次の国を探し出した場合、再びユーロ軟調が見込まれることから、財政問題は引き続き注視する必要がある。

なおユーロ圏の財政問題については、11日の欧州連合(EU)首脳会議で協議される見込みだが、昨日は噂だけで相場が大きく上昇するなど、現状は期待が先行している面がある。もし対応策が市場を失望させる内容であった場合、ユーロ反落も予想されるため、目先は乱高下しやすい地合いにあるといえる。

昨日はギリシャ問題に進展が見られたことで市場のリスク許容度が高まり、豪ドル/円が大きく買われた。

本日朝方発表された2月ウエストパック消費者信頼感が市場予想を下回り、利上げ観測がやや後退したことで、本日は頭の重い展開が予想される。そのほか、引き続き市場の投資環境に左右されやすい展開が見込まれる。

なお11日に1月失業率の発表が予定されており、利上げの可否を占う上でも注目されよう。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/10(水)	22:30	○	(米)12月貿易収支	-364億USD	-358億USD
	24:00	○	(米)バーナンキFRB議長の議会証言草案	—	—
2/11(木)	09:30	◎	(豪)1月失業率	5.5%	—
	09:30	◎	(豪)1月新規雇用者数	+3.52万人	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com